

おあしす



特定医療法人 南山会

親切 安心 信頼

峡西病院・峡西老人保健センター・きづな
・アルプス訪問看護ステーション

2023

5

第37巻5号
(通巻429号)



峡西病院の理念

「その人らしさをともに創造する」

人生の新しい目的や意味と一緒に考え、
より良い人生を伴走していく

令和5年度 南山会事業計画（一部抜粋）

【峡西病院】

■選ばれる病院づくり

精神障がい者入院事業の目標として、精神障がい者から選ばれる病院を目指し、急性期病棟では断らない医療を、亜急性期病棟では社会復帰に向けたリハビリテーションを提供する。

認知症高齢者入院事業の目標として、認知症高齢者と家族から選ばれる病院を目指し、療養病棟として快適な療養と介護の提供することを、認知症治療病棟としては、機能回復による負担軽減を目指す。

外来・リハビリテーション・相談事業の目標として、地域から選ばれる病院を目指し、外来としては地域の医療難民ゼロを目標として掲げ、リハビリテーション事業としては社会生活の支援として役割を果たすことを目指す。また、相談事業として、地域精神医療の中心的存在となるような活動を行う。

人的資本経営の目標として、職員から選ばれる病院を目指す。

【峡西老人保健センター】

■理念『優・友・結』の体現

(1) 長期入所者様の穏やかな施設生活を提供する為、活動性の維持、重度化防止を多職種連携の下で実施していく。また、その人らしい生活が出来る自立支援の取り組みや退所支援を強化することを目指す。

(2) 認知症ケアのスキルを向上させるため、不適切ケアの改善や接遇の改良に取り組み、職員の「より良いケア」への意識を高めていく。

(3) 在宅復帰後の地域とのつながりを意識し地域で生活している高齢者の生きがいになる活動や役割をもって行う活動の推進を図る。

■『人にしか出来ないことに専念出来る働き方を推奨するための環境や体制の整備』

看護・介護職などの人材不足対策として、入所者様、利用者様、ご家族様と更に密に関わりを持ち情報の共有をスムーズに行うため、施設ケアマネと支援相談員を各階に配置する。各職種の専門性を発揮できる人材確保に努め、「より良いケア」の実現に向け、業務改善を検討実施する。

【アルプス訪問看護ステーション】

■その人らしい生活への支援とQOLを高める働きかけの実践

①『利用者の主体性』に重点をおき支援を行う。
②個々にあったアセスメントモデルを用いて的確なアセスメント・評価を行ない、支援計画や看護記録に結び付ける。

③訪問記録の改善を行う。

④訪問カルテに看護記録を入れる。

⑤訪問看護サマリーの内容の精度を高める。

⑥訪問看護ステーション業務をスムーズに運営するために、現在のマニュアルの見直しを行う。

⑦スキルアップのために事例検討会を2回行う。

■地域連携の強化

①在宅支援チームの一員として関係スタッフとの連携をより強化するために、担当制は継続し、連携は受け持ちスタッフが中心になって行う。

②市の認知症に対する地域福祉政策などに参画し、情報収集する。また当ステーションの経験を生かしながら、ケアを必要とする人たちに柔軟に対応する。

■安心して訪問看護を利用できるような支援

①金銭面の負担軽減のため利用できる制度を提供する。

②医療保険と介護保険の狭間になっっている利用者の支援の把握と情報提供を行う。

【きづな】

■地域活動支援センターきづな館

地域活動支援センターの連絡会の立ち上げを検討する。
・利用者の活動や交流が広がる。
・新たな活動の立ち上げに繋がる。
・利用者の増加や新規利用者の獲得。

■相談支援事業きづな

①90名の計画相談を請け負う。
②地域移行支援を請け負い、1名を退院又は退所に繋げる。
③山梨県障害者ピアサポーター事業を請け負う。

■グループホーム

定員数の見直しを行い、高齢化しているグループホームの今後のあり方を検討していく。

■アルプスファーム

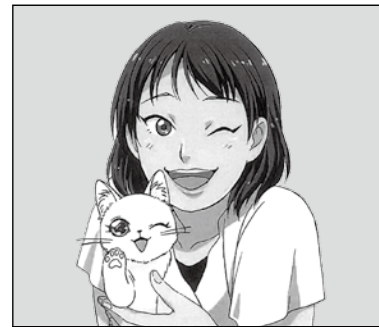
（就労継続支援事業B型）

①工賃の適正化を図り、利用者様の魅力・働きがいを感じることで出来る事業所を目指す。

②他の就労事業所と作業活動を通じた人事交流を図り、人材育成・福祉の底上げに資することを目指す。

③地域の事業所からの送迎に対する希望を受け送迎導入に向けた議論を始めることで、利用者の増加・利用者の選択肢が増えることに繋がる。

令和3年度 目標管理発表会



◇技能賞◇

リハビリテーションG

森澤 千恵

目標

- ・デイケア利用者が、暮らしの中で「緊急時の備え」の意識を高めることができ、ヘルプカードを活用できる。
- ・実用性の高い「リハビリテーションセンター緊急時情報カード」を作成する。

目標挑戦の理由

地域で暮らす利用者が緊急時や災害時に必要な支援が得られる仕組みを備える必要があった。

緊急搬送時の対応や救急時に備えた情報管理の仕組みのなさが、従来からの課題であった。そのため緊急時に必要な情報の共有を、

スムーズに且つ、スタッフが誰でも行えるようにする、「誰でも速やかに持ち出せる仕組み」を作成する必要があった。

活動内容

- ① ヘルプカード作成に向けた調査
- ② ヘルプカードの学習会の開催（利用者向け）
- ③ ヘルプカードの作成
- ④ 緊急蘇生法講習会の開催（利用者向け）
- ⑤ 緊急時情報カード作成に向けた調査
- ⑥ 緊急情報カードの作成
- ⑦ 緊急時情報カードに関する他部署への紹介と提案

結果

1. 利用者にとっての成果

市障がい福祉課の担当者を講師に招き、ヘルプカードの勉強会と作成を行うことで関心を高め、利用者が所持することに繋げることができた。

2. デイケアにとっての成果

独居、高齢、既往歴の多い方等の緊急時搬送カードを作成し、緊急要請カード、意識レベルカードをファイリングすることで、スタッフが誰でも緊急対応ができるようになった。

まとめ

デイケアや、利用者スタッフにとってもヘルプカードの作成をする上で、安心材料を作ることにつながり、地域とつながるという面で大きな成果となった。

ヘルプカードや緊急カードを作成し活用することで、緊急時の意識づけに繋がり、さらに今までの情報では、不十分であった情報を明確にすることができた。

これらの結果から、継続してヘルプカードや緊急カードを作成し、更新していくことでデイケア利用者の安全と地域との結びつきを強めていきたいと思っています。

最後に

ご協力して頂いた、メンバーさん、南アルプス市関係者、スタッフの方々に心より感謝申し上げます。

これからも、メンバーさんの安全、安心に寄り添い暮らしを支える、デイケアでありたいと思います。



OT・PT だより

春の書道展

3月23日(木)「私の好きなこと、好きな言葉」をテーマに春の書道展が開催されました。最優秀賞2作品は先月4月号「おあしす」の表紙を飾らせて頂きました。表紙を飾った受賞者の一人長沼さんから「とてもうれしかった」との言葉を頂きました。最優秀賞・さくら賞(優秀賞)は先月の表紙でも紹介させていただきましたが書道プログラム講師の貴香書道教室の土屋先生が選んでくださいました。ユーモア賞はレク行事事務委員会で、特別賞は春の書道展に参加して下さった皆様の投票にて決めさせていただきました。土屋先生からも「皆さんの気持ちがあふれた力作ぞろいでした。ワクワクしました。どの作品も素晴らしい、選ぶことがとても難しかったです」とのコメントをいただきました。入賞した作品は楽山館1階の理容室前に4月終りまで展示させていただきます、廊下を行き来する皆様を楽しませてくださいました。

精神科
デイケアだより

4月からリハビリテーションセンターフレンドに新しくデイケア担当スタッフが3名配属されました。

3名のスタッフからのコメントを紹介したいと思います。

★新リーダー久保 精神保健福祉士

「気づいたら14年地域にいました。初のリハセンになります。慣れない事ばかりでドキドキですが、どうぞよろしくお願いします。」

★清水 作業療法士

「2年ぶりにリハセンに帰ってきました。新人のつもりで頑張ります。よろしくお願いします。」

★鳥羽 公認心理師

「デイケアの仕事は初めてなので、これから一つ一つ覚えていきます。よろしくお願いします。」

プログラム紹介

復職準備型グループ

「認知機能リハビリ(言語セッション)」

【活動曜日】 木曜日午前

【活動場所】 ミーティングルーム3

【活動内容】

認知機能とはいくつかの意味を含んでいますが、ここで言う認知機能は集中力や記憶力、処理の速さなど頭の回転の基礎となる部分を指します。これらの機能をパソコンの専門のソフトを用いて整えていきます。今回紹介する言語セッションは、このパソコンでのトレーニングを仕事生活に繋げていくためのディスカッションを行うプログラムです。この活動を通して自分自身の得意不得意などの認知機能の特徴に気付くことが出来たり、またそれらをどう活かすか、補うかなどを参加者と共に考えていきます。

興味のある方、見学や利用をお考えの方は、スタッフまで気軽にご相談ください。 ☎055-282-2151

*ホームページをぜひ、ご覧ください。

峡西病院 リハビリのご案内

検索

コロナ禍という制限が厳しいなかで色々なイベントを実施できました！

季節の行事・グループ活動など楽しく出来たと思います。

5月からは新型コロナウイルスも5類になるので、もう少し制限が軽くなるといいですね～
お祭や外出などが出来る様になるのでしょうか…。



* 峡西老健のホームページも
ご覧ください。

峡西老健 検索



峡西老健
の 理 念

優 優しさ

友 友愛

結 人と人

～あなたに優しく、あなたを想い、あなたと結ぶ～

本の紹介コーナー

今回は、ペンネーム：リルム＝テンペスト
さんにおすすめの本を聞きました！

本の題名：転生したらスライムだった件（漫画本）

（作者：伏瀬）

●読んだきっかけは？

子供の友達からおもしろいテレビアニメがあると勧められ、アニメを見ているうちに漫画本を買うまで夢中になっています。漫画本の他に小説や映画など上映されています。ちなみに漫画本は現在、22巻まで発売されています。

●おすすめのポイントは？

今回紹介する『転生したらスライムだった件』は異世界ファンタジーです。

主人公が通り魔に刺されて亡くなり、異世界でスライムとして転生、最初は弱いスライムですが、徐々に様々なスキルを獲得、仲間を増やし自分が理想とする国を作っていく物語です。仲間同士がお互いを助け合い、信頼していく過程や呪文を使った戦い、RPGが好きな人には馴染みのオーガ、ゴブリンなどのキャラクターが登場することなど夢中になる要素がたくさんあります。RPGが好きな方にお勧めです。



◆抱負…早く病棟に慣れ、笑顔で頑張りたいです。

◆好きな食べ物…メロン、かに

◆座右の銘…行雲流水

渡邊 亜衣
介護福祉士
(リスタート病棟)

◆抱負…変態より天才になつてみたい

◆特技…お料理

◆趣味…ギター

矢ヶ崎良星
清掃員（総務グループ）

新入社員紹介

特定医療法人南山会は常によりよい医療を行うことによって、地域社会に貢献することを目的として設立されたものである。職員は常に技術の向上に心掛けるとともに、知性を磨き品性を養い、自己の人間形成に努めるべきである。

■ 臨床倫理

1. 精神障害者を扱う医療機関として、患者様の人格尊重や意思の尊重、自己決定権の尊重を最大限配慮した医療を展開いたします。
2. 患者様の機能的状態や病状に対する説明、診療内容、必要な事項の説明を、わかりやすく丁寧に行います。
3. 当院での医療が納得して受けいられるように、患者様が他医療機関でセカンド・オピニオンを求める機会を支援いたします。
4. 当院での医療にとどまらず、かかりつけ医療機関・福祉介護施設・障害者社会復帰施設などとの連携を深めて、患者様の生活の場を重視した医療とケアを目指します。

日常の倫理的問題に適切・迅速に対処するため、職業倫理・臨床倫理に関する検討を定期的に行います。

万華鏡

子供のころ様々な動物を飼っていた。中でも印象深いのはひよこのピーちゃんである。

昔は縁日で赤や青、緑色といった着色されたカラーひよこが売られていた。動物が好きだった私は親に頼み込みカラーひよこではない普通の黄色いひよこを選んだ。なぜかとい

うとカラーひよこはある程度成長し羽が生え変わる途中でパンツをはいているような姿になることを知っていたからである。それがどうしても可愛いと思えなかった当時の私は、迷わず黄色いひよこを選び我が家に迎えた。

着色されたひよこは購入される前に加工され短命であると言われている。ピーちゃんは着色されなかったためか元気に成長し立派な雄鶏となった。可愛らしく後をついてきた時の面影はなく、成長後は飼い主の足をつつき肉をつまみながらひねりを加え離さない、当時飼ってい

た犬の鼻をつついて攻撃しドックフードを奪取するといった凶暴な行為を繰り返していた。そうして子供の私は怖くて触れることが出来なくなった。

そのような感じで最強なピーちゃんだったが、非常に音痴であり「ケコッコ」と鳴くことができず、度々家族を笑顔（失笑）にしてくれ、攻撃を受け痛かったけれども、なんだかんだで笑い話になっており、いい思い出となっている。

リスタート病棟 深澤

私は今、娘達のバレーボールに夢中になっています。私自身バレーボールは全くの未経験、テレビで全日本を応援する程度で、娘達がバレーボールを始めた頃は、夏はサウナのように熱く冬は極寒となる体育館には行きたくなかった、というのが本音でした。

練習や試合を観戦し、娘達の活躍している姿を見ているうちに、次第にバレーボールの魅力に惹かれていき、いつしかバレーボールを通して娘達と共有する時間が、なにより嬉しいと感じるようになっていきました。

バレーボールは球技の中で唯一、床にボールを落としてはいけないスポーツです。ボールを繋ぐ事が目的で、ひ

私の趣味

とりでは出来ず、人と人・心と心も繋がらなければなりません。そんなバレーボールから、娘達はもちろん私も学ぶ事や得る事が沢山あり、日々成長してきました。苦労や挫折もありますが、娘達のおかげでとても充実した日々を送らせてもらっています。

これからも娘達と一緒に、悔しさと嬉しさや感動といった色々な感情を共有し、私もバレーボールを楽しんでいきたいと思っています。

今ではすっかりバレーボールの魅力にはまり、体育館でのバレーボール観戦が『家族全員の趣味』となっています。

関西老人保健センター 内田

こちら編集室

今年の食品の値上げが早くも2万品目を超えたもよう……。昨年より3ヶ月早いペースで増えているそうです。昨年は7月に2万品目に到達したそうので、情勢不安などの影響が顕著に出ていそうです。このままの値上げペースが続いた場合、今秋には累計3万品目の値上げとなる予測も立っているとのこと……。長いこと物価の優等生だった鶏卵の供給不足・価格高騰の影響も大きい模様。飲食店では卵を使った料理の提供を一時的に休止しているところも増えている。コンビニでも一部の卵を使ったスイーツの供給を停止しているところもある。新商品のPOPを見ると手を伸ばすことも多いが、卵系の新商品はこの春、例年に比べ少ないと感じる。賃上げが伴わない中での値上げなので、家計は大分苦しいが、新型コロナウイルスも5月に緩和され、旅行などの娯楽費にお金を費やしたくなる中、お金のやりくりに余計に頭を悩ます事になりそう。今年こそは、の思いの方は多いですよ？ 皆様はこの先行楽の予定はありますか？

(たまや)

今月の予定 5月

11日
クリニカルパス委員会
治療プログラム委員会

13日
外来ケアプロセス会議



おあしす広場

今月もおあしすに素敵な作品が寄せられました。

桃の花ハンドルにぎり忙しい
石坂 克巳

葉桜やせつせと酸素をだしにをり
今福 和人

春盛り外で絵を書き心地良き
大森真知子

新緑の櫛形山も集うひと
恵 風

桃の花ピカリと光る乙女かな
塚原 光明

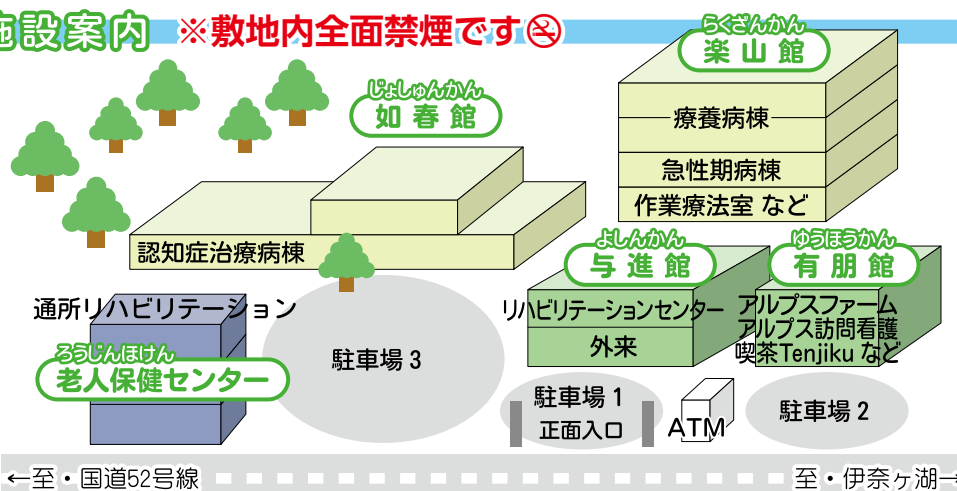
蛤や海水浴で遠の海
保坂五十鈴

晴れた日に緑の休日一年で
渡辺 あき

終わりが見えた。仕方ない
渡辺奈美子

※掲載は五十音順です。

施設案内 ※敷地内全面禁煙です☒



交通案内

- JR中央線
甲府駅より車で40分
- JR身延線
東花輪駅より車で15分
- 中央高速
甲府昭和ICより車で30分
- 中部横断道
南アルプスICより車で5分
- 山交バス
甲府ー南アルプス市甲西支所行き
(十五所経由) 鰍沢営業所行き
(西野経由) 鰍沢営業所行き
小笠原下仲町バス停徒歩5分

月刊おあしす第429号 1987/9/5創刊

発行所

〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地421
TEL 055-282-2151 FAX 055-284-4886
URL <http://www.nan-zan.or.jp>

特定医療法人 南山会

* 広報委員会 *

中山貴、望月裕太、堀内園香、柴沙也佳、澤登祐弥
原京子、埜村麻美、柳沢真尋、保坂駿子、伊藤貴文

次回430号も
お楽しみに!